

科目分類	助産学実践科目 実践・関連			開講時期	1年	前期
科目名	周産期の診断と技術Ⅳ（ハイリスク）					
選択/必修	必修	単位数（時間数）	1単位	15時間	授業形態	講義
担当教員	野々山 未希子 ・ 田中 真穂					
メールアドレス	m-nonoyama@tsuruga-nu.ac.jp(野々山) m-tanaka@tsuruga-nu.ac.jp(田中)			オフィスアワー	随時相談に応じます。 事前にメール連絡してください	

授業目的	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) ハイリスクにある母子（妊娠・分娩・産褥・新生児期）の助産診断・ケアに必要な知識が理解できる</li> <li>2) ハイリスクにある母子（妊娠・分娩・産褥・新生児期）の援助技術について説明できる</li> <li>3) 産科における手術時のケアについて理解できる</li> <li>4) 産科における緊急時の対応について理解できる</li> </ol>
授業概要	ハイリスク状態にある妊婦・産婦・褥婦と援助技術について理解し、ハイリスク状態にある妊産褥婦の健康状態のアセスメント及び援助技術を実践できる基礎的能力を養う。
授業計画	第1～3回 妊娠期の異常とそのケア 第4～6回 分娩期の異常とそのケア 第7回 産科における緊急時の対応と産科処置・ケア 第8回 産褥・新生児期の異常とケア
教材 参考文献等	教科書：助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ 妊娠期，医学書院 助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ 分娩期・産褥期，医学書院 日本産婦人科学会「産婦人科診療ガイドライン 産科編」 仁志田博司，新生児学入門，医学書院 参考書：荒木勤，最新産科学 正常編，文光堂 荒木勤，最新産科学 異常編，文光堂 北川真理子他，今日の助産，南江堂 助産師基礎教育テキスト 第7巻 ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア，日本看護協会出版会  *授業内で適宜紹介する

成績評価 基準・方法	筆記試験 100%
履修要件	なし
留意事項 その他	助産学実習Ⅲの実習内容に大きく関連しています。事前学習・復習すること。 周産期の診断と技術Ⅰ～Ⅲの進行状況に応じて、授業内容の変更があります。